

第4回（仮称）平和資料館開設準備懇話会について

1 概要

（仮称）平和資料館の開館に向けて、自主事業や運営体制等の検討を進めるため、学識経験者や他の公立の資料館の関係者等の専門的な見地から意見を聴取する「（仮称）平和資料館開設準備懇話会」を設置し、本年7月に第4回の会議を開催したため、報告するもの。

2 懇話会の進め方（意見聴取事項）

開催日等	意見聴取事項
（令和元年度） 第1回：8月27日（火）	○（仮称）平和資料館基本計画・実施設計 ○コンセプトに基づく展示内容の整理・プロローグ（導入展示） ○館の自主事業（展示以外）
第2回：1月30日（木）	○コンセプトに基づく展示内容の整理 ・戦前の北九州 ・戦争と市民の暮らし ○館の管理・運営（ボランティアの導入）
（令和2年度） 第3回：8月26日（水）	○コンセプトに基づく展示内容の整理 ・空襲の記憶 ・運命の昭和20年8月8日・9日 ・戦後の復興 ・エピローグ 等 ○館の管理・運営（戦時資料の収集）
（令和3年度） 第4回：7月 1日（木）	○事業計画（入館料、開館時間、正式名称等）について

※第5回について開催時期等は未定

3 委員名簿

区分	氏名（敬称略・50音順）	所属等
—	後藤 みな子	一般社団法人 北九州文学協会理事長
座長	近藤 倫明	北九州市立大学名誉教授
—	佐方 はるみ	九州女子大学人間科学部特任教授
—	篠崎 桂子	長崎原爆資料館館長
—	戸高 一成	呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）館長
—	凧 恵美	松永文庫 室長代理
副座長	羽田野 隆士	北九州商工会議所 専務理事
—	吉水 請子	極東ファディ株式会社 取締役

4 今後の取り組み

議会からのご提案等を踏まえつつ、懇話会での議論を深め、事業計画をまとめる。

《資料》

- ・議題（1）事業計画の策定について 別紙1
- ・議題（1）についての主な意見について 別紙2
- ・（仮称）平和資料館について 別紙3

事業計画の策定について

1 事業計画の策定

(仮称) 平和資料館の開館(令和4年度)に向けて、開館後の管理・運営方法や事業等を定めた事業計画を策定する。

事業計画策定に当たっては、基本計画をベースに、(仮称) 平和資料館開発準備懇話会での意見や近隣の歴史・文化施設の状況等を参考にする。

2 事業計画に盛り込む内容

「入館料」・「開館日」・「開館時間」・「名称」等

【参考：(仮称) 平和資料館基本計画(抜粋)】

第4章 運営計画

1. 運営

(1) 運営手法(略)

(2) 入館料

公共施設マネジメントの視点を踏まえ、原則、有料とし、具体的な料金体系については検討を行う。

(3) 開館日

展示収蔵資料や施設の維持管理を適切に行う必要があることから、一定の休館日や資料の整理、展示更新など特別休館日を設けることを検討する。

(4) 開館時間

近隣施設との調整を図るとともに、終戦記念日や原爆投下の日、企画展各種イベント開催時等には開館時間を変更するなど、柔軟に対応できるよう検討する。

2. 名称

展示内容などを踏まえ、対象とする分野や活動を表すものとして、今後、正式名称をはじめ、来館者に親しまれる愛称や略称なども検討する。

3. 組織(略)

4. 集客

(1) 近隣施設等との連携やネットワークの構築による取り組み

近隣の歴史・文化施設の紹介を行う等、集客に向けた連携やネットワークづくり、他施設と連携した展示の企画や共同イベントの開催等も検討する。

(2) 観光客等の取り込みを図る取り組み

市外からの観光客や外国人等、多様な来館者の来館に繋がるよう、イベントやプログラムを検討する。

入館料・開館日・開館時間

論点 資料館の集客や近隣施設との回遊性を図る入館料・開館日・開館時間の設定
論点 (入館料) 年代等に応じた料金体系の設定
論点 (開館日・開館時間) イベント等に対応できる柔軟な設定

【参考：近隣の歴史・文化施設の状況】

(入館料)

施設名	料金区分		
	一般	中学・高校	小学生
松本清張記念館	600(480)	360(280)	240(190)
文学館	240(190)	120(90)	60(40)
小倉城	350(280)	200(160)	100(80)
小倉城庭園			

- ・ () は30名以上の団体割引
- ・ 松本清張記念館、文学館の両館に入館する場合はそれぞれが2割引となる共通割引チケットがある。
- ・ 松本清張記念館、小倉城・小倉城庭園との3施設共通券がある。

(一般700円、中高生400円、小学生250円)

(減免)

- ・ 北九州市内の小中学校等の児童・生徒が学校教育等で引率者とともに観覧するとき(引率者を含む)
- ・ 療育手帳、身体障害者手帳を所持する者及びその付添人 等

【参考：他都市の施設の例】

施設名	料金区分		
	一般	高校	中学生以下
広島平和記念資料館	200(160)	100(無料)	無料
長崎原爆資料館	200(160)	100(80)	
呉市海事歴史科学館	500(400)	300(200)	200(100)

- ・ 広島市では一般は30名以上の団体割引・高校生は20名以上で無料。
- ・ 長崎市では15名以上の団体割引、
また、県内の小中学校の児童若しくは生徒で、学校行事で入館する者等は無料。
- ・ 呉市では20名以上の団体割引、呉市内の高校生以下は無料。

2 開館日（休館日）

施設名	休館日（館内整理日は除く）
松本清張記念館	年末（12月29日～12月31日）
文学館	月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）・12月29日～1月3日
小倉城	年中無休
小倉城庭園	

3 開館時間

施設名	開館時間
松本清張記念館	午前9：30～午後6：00（入館は午後5：30まで）
文学館	
小倉城	（4月～10月）午前9：00～午後6：00（入館は午後5：30まで） （11月～3月）午前9：00～午後5：00（入館は午後4：30まで）
小倉城庭園	

【参考：他都市の施設の例】

- ・長崎原爆資料館では8月については通常より開館時間を延長している。

（長崎原爆資料館の事例）

4月、9月～翌3月 8:30～17:30（入館は17:00まで）

5月～8月 8:30～18:30（入館は18:00まで）

8月7日～9日 8:30～20:00（入館は19:30まで） ※広島市の場合は8月5日・6日は20:00まで

正式名称について

論点	資料館の趣旨やコンセプト等を伝える名称
論点	児童・学生が資料館の趣旨等を実感できる分かりやすい名称

名称候補	名称の考え方	
平和祈念館	市民が、本施設や原爆投下予定地であった勝山公園を訪れ、過去の歴史に触れることで、本施設は市民が平和を願う（「祈念」）場であることを表現する。	
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「祈念」と「記念」ではどちらでもいいと思う。 (課題) ・「祈念」はやや宗教色が感じられる。
平和記念館	「記念」とは、過去の出来事・人物などを後々の思い出に残しておくことであり、本施設を通して、戦争の惨禍や戦時下の暮らしを紹介し、戦争の記憶を市民に伝え、心に残すことを表現する。	
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「祈念」と「記念」ではどちらでもいいと思う。 ・「きねん」は「記念」の方がイメージできる。 ・「記念」は普通であるが、普通であることの意味もある。 (課題) ・「記念」は祝い事をイメージする。
平和都市歴史館	戦前から戦後の「歴史」を経て、非核平和都市宣言を行い「平和」を求める現在の“まち”の姿の総称を「平和都市」と表現する。	
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史」扱うので「都市歴史」がいい。 ・「都市」という響きが現代的でいいと思う。 (課題) ・意味が広すぎて分かりにくいのでは。 ・「都市歴史」は北九州の大昔の歴史も扱うと誤解。
平和伝承館	本施設を通して、戦争の惨禍や戦時下の暮らしを後世に「伝」え、平和な世界を未来に継「承」することを表現する。	
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝承」という言葉がシンプルに分かりやすい。 ・幅広い世代に伝えるという意味なら「伝承」もいい。 (課題) ・意味が広すぎて分かりにくいのでは。 ・「伝承」は「で」と濁音なので、「平和」と繋げると発音しづらい